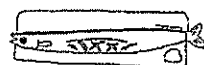


KSKS

ばなの木

Vol.55

食谷欠の未火
秋刀魚のおいしい
季節ですね



編集人: 社会福祉法人「ばなな」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなな (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27/banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

「法人近況報告」

前月号でお伝えをいたしました、施設建設報告のその後を報告させていただきます。

前年度、3月に開催された第52回理事会～今年度、9月に開催された第55回理事会と6月の第1回定時評議員会を経て、様々な課題を乗り越え、土地の購入（購入代金は1億4,500万円）が決定いたしました。場所は中区深井清水町になります。サニー・サイトから徒歩5分。サポートセンターはなのこみちからも徒歩10分の距離です。（何かあれば、走って間に合う距離です。）

泉北高速線「深井駅」からは徒歩15分ほどの距離です。

広さは約350坪と十分な広さとなりました。土地の約半分を活用し、敷地200坪の予定で、法人短期目標に沿って、来年中の施設建設着工、完成を目指し、平成31年1月～3月のオープンを目指していく計画です。施設の定員は、現在の構想では20名定員で運営を行っていく予定です。広さも2F建てを予定しており、施設完成後は法人本部の移転も予定しております。

施設の名称も決まりました。名前は、サニー・ばななです。

聞き覚えのある方も中には、いらっしゃると思います。この名称は、以前、JR阪和線鳳駅近くで運営していた小規模作業所時代のものです。（焼き菓子製造専門の作業所です。）平成18年3月にサニー・ばななとサロンつどいが合併（サニー・サイトとして新出発）するまで使用をしておりました。今回、約10年ぶりに復活をすることとなりましたので、よろしくお願いたします。

運営体制については、施設完成後はモンキーばなな現利用者全員、移っていただく予定となります。モンキーばななはどうなってしまうか分からないという、不安はまずは、解消される運びとなりました。

来年度は障害福祉サービスの制度改正もなされ、多難な時期とも重なりますが、これからも、利用者の笑顔と安心・安全、そして、ご家族の方々、地域の方々の思いにしっかりと応えていけるよう、職員・役員一同、がんばってまいりますので、引き続き、あたたかく見守っていただきますよう、何とぞ、よろしくお願いたします。

社会福祉法人 ばなな
統括主任 山口 和博

【ばなな発】

活動報告

- 7月 7日 モンキーばなな外出訓練 (南港ATC めんたいパーク)
22日 第39回福祉盆踊り大会
27日 市庁舎バザー販売
- 8月 1日 PLの花火鑑賞会
2日 USJ職員向け販売(パッセネットワーク)
19日 サニー・サイト 中区民フェスタ
23日 サニー・サイト 大阪市立阿倍野防災センター見学
25日 モンキーばなな カラオケ大会
- 9月 5日 大阪880万人 サニー・サイト避難訓練
22日 モンキーばなな避難訓練
30日 はなのこみち避難訓練



研修報告

- 7月 22日 人材定着(1名)
25日 アンダーコントロール研修(1名)
26日 法人全体研修「アンダーコントロールで自分にやさしく、ひとにやさしく」
(19名)
- 8月 8日、14日、22日、23日 サービス管理責任者研修(1名)
23日 法人全体研修「ストレスマネジメント研修」(18名)
27日 堺脳損傷協会フェスティバル(1名)
- 9月 5日、6日、7日、8日 第2回民間社会福祉施設職員合宿研修会(1名)
12日 ストレス管理ラインケア(2名)
13日 堺の福祉の歴史とこれからの動向(6名)
15日 介護記録の書き方(2名)
28日 法人全体研修「アセスメントについて」(20名)
29日 食品表示に基づく 食品表示の基礎を学ぼう(1名)



【第 16 回脳損傷協会フェスティバル】

第 16 回脳損傷協会フェスティバルに参加し、第一部では当事者、支援者が「高次脳機能障害についての体験」を語るというものだった。「15 年を乗り越えて」というテーマで、奥さんが高次脳機能障害となった夫婦と、本人と関わりのある福祉施設関係者のお話を拝聴した。高次脳機能障害となったが、「できなくなった意識」が持てない、記憶・遂行障害となったことで、生活には様々な困難が生まれたが、長い混乱を経て障害との関わり方を見出していったという事だった。現在では、奥さんと社会との関わりを継続させる、家族の減ストレスを目的に 3 つの施設に通所し、中でも生活リハビリセンターでの、一人でバスに乗って通所することを目的とした取り組みが印象的だった。携帯の使用から、手順を間違えずにバスに乗れるまで、支援員が見つからないように遠くから様子を見守り、徐々に一人での外出が出来るようになった。そこには周囲の効果的な工夫と、本人のポジティブな性格が良い結果につながったと思えるものがあり、「バスに乗るのは楽しいです。」と明るく感想を言っていた。

次に「就労に至る道のり」という、事故により 19 歳で高次脳機能障害となった男性が、9 年の苦節を経て就職にいたったお話を本人と母親から拝聴した。2 ヶ月間意識不明であり、目覚めたときには事故当時の記憶がなく、「今すぐ家に帰って普段の生活に戻ろう。」という思いから病院から自力で逃げ出し、車イスで移動中に警察に保護されたことを笑いを交えて話していた。入所でのリハビリを車イスのブレーキを引きちぎってまで拒否するという事があったが、通所リハビリで自立歩行まで回復し、また障がいのある仲間との交流で、病識改善という過程があったという事だった。事故から 3 年後に大学に復学し、ノートテイクなど理解ある周囲の助けで卒業にいたったが、就職活動が全て不合格だったことに落胆するも、さらに 2 年後に特例子会社に正社員での就職が決まる。「面接では質問対しの外れな事を言ってしまい、面接官がずっこけた。でもその人が僕を気に入ってくれて、本来一名だった採用枠を増やしてまで採用してくれた。」と感情をこめて話していたのが印象的だった。

第 2 部のパフォーマンス、第 3 部にコンサートを拝見し、障がいを持っていても工夫をこらして観客に伝えたいことを表現する姿に感銘を受けた。特に「オйкаゼ」のコンサートは、手話とサインダンスを用いた現代的な手法で、幅広い層に向けて「障がいを持つ人に対する、理解者の輪を広げたい。」という強い思いを感じる事が出来た。今回のフェスティバルに参加し、高次脳機能障害に対する認識が大きく変わったが、改めて障がいはそれぞれに個性があり、個人の体験を聞くことでより理解を深められるという事を再確認できた。また周囲の効果的な支援で、社会的な生活への復帰や、家族との関わりも新たな道を模索できることを実感でき、非常に有意義なものだった。

【アンガーコントロールで自分にやさしく、ひとにやさしく】

今回のアンガーコントロールの目的は元気にいきいきと仕事ができるように！です。アンガーマネジメントという言葉をもとに聞いた時は、怒らないようにする事なのかな？と思っていましたが違いました。怒るとい感情はよくない、というイメージがあったからです。

今回、改めて怒るとい感情について知っていくと、マイナス面ばかりでなく、プラス面もありました。怒られた事をモチベーションにして頑張ったことなどは、最初はマイナスとっていたことが結果的にプラスになった事もありました。

今回学んだことは、まず自分の怒りの癖（どんな事で怒りスイッチが入るか、どんな風に怒りを表現するか？）を知り、自分の怒りの傾向を知るという事でした。

質問に答えると自分のタイプがわかり思い当たるところがありました。皆それぞれにタイプが分かれておもしろかったです。

怒りは他の人に連鎖していくので、怒らなくていいことは避ける事ができるようにし、どうしても、というときは言葉選びに気を付けていきたいです。怒りっぽいと思ったら、ストレスが溜まっているかもしれません。それが原因で病気になるか分かりません。反対に笑う事は、イライラから解放されます。なるべくストレスを溜めないように、自分なりのストレス解消法を見つけて、自分の心も相手の心も大事にして、コミュニケーションをしていきたいです。

新しい職員紹介

堀川 由香（ほりかわ ゆか）

☆好きな食べ物

カツカレー

☆やりたいこと・夢

着物を自分で着れる様になって京都や
いろんな所へ出掛ける

☆苦手なこと

人前に出て話すこと

☆尊敬する人

自分をしっかり持つてる人

☆一言

サニー・サイトで職員さん、利用者
さん達と、頑張っていきたいと思
います。宜しくお願いします。



モンキーばなな

☆ みんなで避難訓練をしました。☆

9月15日(金)今年もみんなで避難訓練をしました。今回は利用者を担架に乗せて、5人で非常階段の上り下りにチャレンジしました！合計で3人の方に担架に乗ってもらいましたが、持ち手の職員は最後の方はちょっとバテバテでした。(笑)また防災についてのDVDも鑑賞し、地震や津波の恐ろしさを改めて知る事ができました。

皆さんもいつ来るか分からない大きな災害に備えて、避難用の防災グッズと避難場所だけは事前に確認・準備をしておきましょう！

夏のボランティア体験 IN 堺

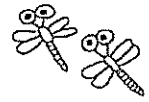
今年度は、4名のボランティアの方に来ていただきました♪ 本当にありがとうございました！！

《 パッセの営業時間が変わりました！ 》

堺市堺区のイオンモール鉄砲町1階にある福祉のアンテナショップのパッセが、今年の7月から土曜日の営業時間が、10:00から20:00になりました。(平日と日曜日は10:00から16:00です。)

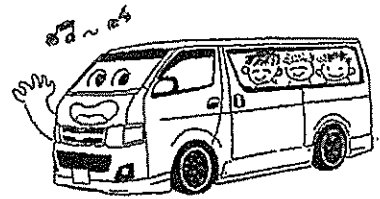
パッセは堺市内の30の事業所が集まって共同運営をしています。

これから土曜日は夕方以降もゆっくりと商品を見る事ができますのでお近くに来られた際はぜひお立ち寄りください！！もちろんモンキーばななの商品も販売しています。パッセのフェイスブックもあります。新商品の更新もしていますのでチェックしてみてください！！



サニー・サイト

平成29年度 日本郵便 年賀寄付金助成車

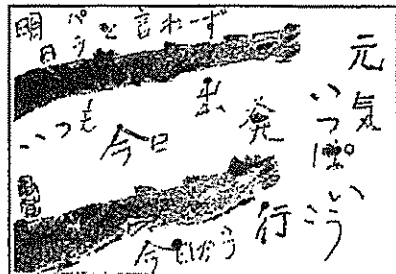


毎日、送迎や外出、クッキー等の配達で利用している車の走行距離は10万キロを越えようとしており、老朽化が進んでいました。

安全・安心の為に、新しい車両がほしいという願いで日本郵便株式会社が実施している年賀寄付金配分事業へ申請をしております。承認されて、7月31日に新車が届きました。寄付金付お年玉郵便はがき及び寄付金付お年玉郵便切手を通じて、寄付金を頂いた全国の皆さんに厚くお礼を申しあげます。**ありがとうございます。**

早速、全員でイオンモール堺鉄砲町へ外食に、また、大阪市立阿倍野防災センターへ見学・体験に行く事が出来ました。大切にに使わせて頂きます。

地域の方々から
秋の絵がみ届きました。



大阪市立阿倍野防災センターへ見学・体験

いつどこで地震や火災にあうかわかりません。そこで、少しでも防災に役立てられるよう自分の身を自分で守る事を実際にいろいろな体験をしてきました。地震の揺れ体験は恐怖で体が強張りました。また、煙の中をタオルで口を押さえて移動体験をしました。姿勢を低くして行動する難しさ、煙で前が見えにくい不安がありました。見学後、9月5日には大阪880万人訓練に全員で参加しました。実際には、このような訓練を活かす事が無い事を願いながらも、備えを持って全員で日常生活の中に安心を作りだしたいと思っています。

らふたあ

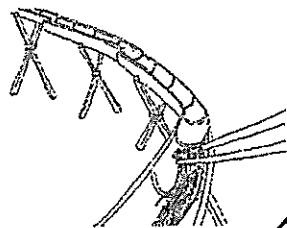
9月のヘルパー会議より

9月のヘルパー会議で以前、行政から講師に来てもらい研修を受けた「障害者福祉きほんの基」を参考に虐待について学び、会議参加者と共に話し合いを行いました。その中でヘルパーの現場で虐待とはどんなものを指すのかという話しになりました。あるヘルパーが、「ガイド中、利用者が危険な行動をとろうとした際、声かけでは指示が入らない方だったため体をはって制止していると冷ややかな周りの目があった。周りからみたらいじめていると思われたんだろうな」という話しがでました。他のヘルパーも同じような経験があり「虐待の定義って難しいよね」とみんなでしみじみと語りあいました。平成24年10月からの障害者虐待防止法、平成28年4月からの障害者差別解消法施行後、たくさんの研修を受ける機会があります。こういった研修で得た知識を、ヘルパー会議などで共有し、それぞれが日頃の支援をみつめ直すことで、意識やサービス内容の向上を図る為に取り組んでいきたいと思っております。

遠出のガイド

9月のガイド依頼は遠出のものがいつもよりありました。まず、甲子園球場での阪神対横浜 DeNA 戦観戦です。PM6:00からの試合でしたが甲子園近くのららぽーとで買物もしたいとのことでJR堺市駅を12:00頃出発しました。あっという間に甲子園に到着し、ららぽーとでゆっくり買い物ができ甲子園球場へも余裕をもって入場することができました。おみやげをみたり応援グッズを購入したりと野球以外にも楽しむことができたようです。

もう一つは、貝塚の「ほの字の里」で流しそうめんのイベントに参加しました。これは、利用者が自分でみつけてきたイベントで「貝塚だから行けるよね？」と軽く出発したのですが、バスを降りて進んでいくと道の舗装はされているがアップダウンがすごくあり利用者と冗談を言いあっているものの利用者をこんな山奥に連れてきてよかったのだろうかという内心不安になりました。でも、目的地に無事着き、長い長い竹を通して流れてくるそうめんを食べ、利用者も貴重な体験ができたと言ってくれました。「遠くだから行けない」や「バリアフリーが整っていないから無理なのでは」ではなく、利用者が「この場所に行ってみよう」という気持ちを大切に共に目的地を決めるのもいいことだなと思いました。



サポートセンター はなのこみち

もしもの時に備えて

9月30日(土)にグループホームで避難訓練を実施しました。今回は日中の時間帯に2階の台所から出火して火事になったことを想定し、初期消火と消防署への通報を行った後、建物の外へ速やかに安全に避難することを目標としました。台所は2階の中央に位置しているので、出火箇所を避けて避難できるように、建物の端にある屋外避難階段(外気にさらされているため、火災による煙の影響が少なく安全性が高い)を使用する経路と屋内階段(防火扉を閉めれば階段室内に煙が拡散しないので安全に避難できる)を使用する経路に分かれて避難しました。火事の知らせを受けて支援員の誘導通りに速やかに避難する方もいましたが、居室のテレビの電源が入っていることがどうしても気になり、すぐには避難せず電源を切ってから避難を始める方もいました(命を最優先するように避難訓練の後に伝えました)。今回スムーズに避難することができた方や支援員についても、実際に火災が発生した場合にはパニック状態となり冷静さを失うことも想定されるため、マニュアル通りに自然に体が動くようになるまで訓練を重ねる必要があると思います。また深夜の時間帯など、日中に比べて支援員の数が少なく、周りに助けを求めることが難しい状況を想定した訓練を行う必要もあると思います。そして火事を起こさないように常日頃から火の元に注意することはさらに大事なことだと思います。火事の原因は放火、タバコの不始末、コンロからの出火が多いそうです。入居者にタバコを吸う方はおらず、コンロを使用するのは複数の支援員がいる時間帯であるため、お互いに注意し合えば火事を起こすことは防ぐことができると思います。なお放火を防ぐためには燃えやすい物を建物の周囲に置かないようにする他、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」に取り組むことが重要だそうです。地域の一員として環境づくりにも協力できればと思います。

質の高い支援を目指して

現在グループホームの支援員、またヘルパーとして勤務しています。支援の質を高めた
いと考へ、10月に実務者研修の講座を受講しました。研修の内容は介護の現場で起こり
うる様々なことを想定したもので、医療の知識や認知症の利用者への理解など、現在の業
務とは直接関係のないカリキュラムも含まれています。専門的な内容が多くて想像以上に
難しいものでしたが、同じ講座を受けている他事業所の方、他職種の方
と普段の業務について話し合い、いろいろな意見を聞くことができたこ
とは大きな刺激となりました。今回の研修で学んだことを今後の支援に
活かしていきたいと思っています。



地域のみなさんとともに

秋も深まり冬の準備に入っていく季節となりました。今年もモンキーばななとサニー・サイトは、様々なスポットで開催されるバザーやお祭りに参加・販売をしていきます!!! 11月に開催されるイベントをお知らせいたします。全て入場は無料です。

① 西区ふれあいまつり

○堺市西区役所 11月11日(土)【10:00~16:30頃】※雨天決行

② 第30回関西矯正展

○大阪刑務所内 11月11日(土)【10:00~16:00】

12日(日)【9:30~15:00】※雨天決行

③ ナカ・ナカマネットワーク

○堺市中区役所 11月17日(金)【9:30~15:00】



④ 第23回福祉フェスティバル

○堺市堺区 夕雲児童公園 JR百舌鳥駅西口よりすぐ

11月23日(金)【10:00~16:00】※雨天決行

☆ お近くに来られた際には、ぜひお立ち寄りください! お待ちしております! ☆

クリスマスクッキーセットの販売のお知らせ

毎年恒例となりましたクリスマスクッキーセットの販売がいよいよ始まります。

昨年度もたくさんのご注文をいただきました。心より感謝申し上げます。

今年も300円、500円、1000円のセットを販売します。1000円セットには、クリスマス限定のクッキーとモンキーばななの利用者がつくった可愛いデザインのマグネットが入っています。大切な人へのプレゼントや自分のご褒美としていかかでしょうか?

編集後記

秋祭りも終わり、本格的に冬に向け冷え込んできました。今年は、全国的に天災の被害をニュースで見る機会が多くありました。当法人では、災害時を想定して各事業所で避難訓練等を実施し、利用者、職員の自主防災の意識を高めるようにしています。今後もこの活動を続け、自助の力を身につけるとともに、地域の一員として、助けていただくだけでなく、少しでも皆さんの手助けができる共助の力も身につけていきたいと思っています。

編集委員一同

発行人 関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価100円